


環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会 御中
 (事務局:気候変動対策認証センター)

平成24年11月30日

温室効果ガス排出削減・吸収量認証依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における検証が終了しましたので、利用約款記載のダブルカウントを回避するための措置を適切に執り行うことを誓約のうえ、下記の温室効果ガス排出削減・吸収量の認証を依頼いたします。

プロジェクト名			
釧路湿原におけるサン・クロレラ社有シラカバ林の森林吸収プロジェクト			
【依頼者】 プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	株式会社サン・クロレラ		
住所	京都市下京区烏丸通五条下る大坂町 369 番地		
代表者氏名	中山哲明	代表者役職	
担当者氏名	本田 学	担当者 所属部署・役職	総務部
担当者 E-mail	Honda@sunchlorella.co.jp	担当者電話番号	075-288-3000
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名			
プロジェクト参加者名			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者			
事業者名(フリガナ)	株式会社サン・クロレラ		
妥当性確認・検証機関			
妥当性確認機関名	一般財団法人 日本品質保証機構		
検証機関名	一般財団法人 日本品質保証機構		

プロジェクト情報	
プロジェクト登録番号 (4ケタ)	0169
プロジェクト登録日	平成 24 年 11 月 15 日
プロジェクト概要 ¹	<p>(具体的な内容を簡潔に記載すること。)</p> <p>【プロジェクトの目的・内容】 クロレラを通じて健康な暮らしといきいきとした社会づくりを目指すサン・クロレラが、北海道釧路湿原を一望するシラカバの森を健全な状態で管理すること、また温室効果ガスの吸収率を継続的に増大させることを目的とする。</p> <p>【適格性基準との整合性】</p> <p>〈条件 1〉 プロジェクト実施地は釧路根室地域森林計画に定められた民有林であり、森林法 5 条に定める森林である。</p> <p>〈条件 2〉 プロジェクトは(株)サン・クロレラの森林施業計画書(単独y)(認定番号釧路町 22-4 号)の森林を対象としており、森林施業計画単位である。 ・森林施業計画は 2010 年 12 月 1 日からであり、2007 年 4 月 1 日以降に森林施業計画等に基づき施業(間伐)されたものである。 ・森林施業計画は 2015 年 11 月 30 日までの計画であり、2013 年 3 月 31 日までの計画策定がなされている。</p> <p>〈条件 3〉 施業計画の認定番号 釧路町 22-4 号 釧産(農)第 205 号 平成 22 年 11 月 22 日 釧路町長</p> <p>【法令遵守状況】 森林・林業基本法第 9 条の森林所有者としての責務を遵守している。 森林法第 5 条の地域森林計画、第 11 条森林施業計画を遵守している。</p>

¹ プロジェクト概要はプロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA / QC 体制等に関する内容を 3 ページ以内で具体的に記述してください。登録時から変更がなければ登録時と同内容を、登録時から変更がある場合は相違点を具体的に記述してください。

【採用技術】				
機器名	メーカー名	耐用年数	導時期	備考
GIR1600	SOKKIA	7 年	平成 23 年 5 月	面積測量機器
PA600 II	UNITECH	7 年	平成 23 年 5 月	
GEO SKETCH2	TIMBERTECH	7 年	平成 23 年 5 月	
VERTEX IV	VERTEX	7 年	平成 23 年 5 月	樹高測定器
輪尺	不明	7 年	平成 23 年 5 月	胸高直径測定器

【モニタリング方法】		
記号	内容	計測方法
Area Forest	間伐面積	GPS 測量に基づく実績
地位級	対象森林の土地条件等の階層	パーテックスを用いた実測
BE、R、radio、WD、CF	LULUC の文献値	「京都議定書 3 条 3 及び 4 の LULUCF 活動の補足情報に関する報告書の値を使用

【GHG 算定式の方法論への準拠性】
すべて準拠する。

【モニタリング体制】

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>【吸収量算定責任者】 代表取締役 ● 吸収量の確認 ● モニタリング報告書の確認</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>【内部監査】 総務部課長 ● 吸収量の確認 ● モニタリング報告書の確認 ● データの確認 ● モニタリング体制の確認</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>【吸収量算定・確認者】 総務部担当者 ● データ・野帳の確認 ● データ入力 ● 吸収量の算定 ● モニタリング報告書の作成</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【モニタリング担当者】 (測量委託業者) ● プロットの設定・面積の測量 ● プロット調査(樹高測定・地位の特定) ● 作業内容の確認 ● 測量機器の使用前点検</p> </div>
	<p>【QA / QC 体制】 モニタリング体制に同じ (その他特筆すべき事項)</p>
<p>モニタリング結果概要²</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☒ プロジェクト計画に基づきプロジェクトを実施した。 ☒ モニタリング計画書に基づきモニタリングを実施した。 ☒ モニタリング方法ガイドライン・方法論に準拠した GHG 算定を行った。

² モニタリング概要は、モニタリング方法において特筆すべき事項があれば記入してください。

	(その他特筆すべき事項)						
適用モニタリング方法 ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン (森林管プロジェクト用) 4.0ver.						
適用方法論	方法論番号	R001 ver. 5.0					
	方法論名称	森林経営活動による CO2 吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)					
モニタリング結果							
モニタリング期間	2011年4月1日～2012年10月31日						
<方法論R001・R002・R003のみ>							
モニタリング対象面積	51.42ha						
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	0	0	0	320	188	508
認証依頼削減・吸収量	508t-CO2 ³						

³ 合計の値から小数点以下を切り捨て、トン単位で記載してください。

ダブルカウントの防止の措置	
ダブルカウントの防止の措置を講ずる事業者	<p>【ダブルカウント防止措置を講ずる事業者名】</p> <p>事業者名: <u>株式会社サン・クロレラ</u></p>
ダブルカウントの防止措置内容	<p>以下、該当する場合は、□に✓を入れ、必要に応じて詳細を記入してください。 (オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則 1.4「クレジットの二重使用」参照)</p> <p>【① 類似制度に基づく二重認証に関するダブルカウントの防止措置】</p> <p>■ 類似制度へ申請しておらず、当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する温室効果ガス削減・吸収という環境に関わる付加価値(以下、「環境価値」という。)の認証を取得しません。</p> <p>□ 以下の類似制度(「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法を含む)に申請しています</p> <p style="padding-left: 40px;">類似制度名: _____</p> <p>□ 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得しておらず、今後も取得しません。</p> <p>□ 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得しているため、その分を控除いたします。</p> <p>□ 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得していますが、以下の理由によりダブルカウントが生じていないことを証明します。</p> <p style="padding-left: 40px;">理由: _____</p> <p>【②第三者に環境価値を移転する際のダブルカウントの防止措置】</p> <p>□ 当該プロジェクトにより生み出されたエネルギー等(電気、バイオガス等)を第三者に売却する際に、その売却先に対して、環境に関わる付加価値はクレジット化されており、当該エネルギー等の価値には付随していないこと、及び、当該エネルギー等の価値の帰属先と、環境に関わる付加価値の帰属先が異なることを明示する「説明文書」を作成して、売却先に示します。</p> <p>■ 森林管理プロジェクトの場合、当該プロジェクトの対象となった森林を第三者に譲渡する際に、その譲渡先に対して、環境価値はクレジット化されており、当該森林には付随していないこと、及び、当該森林の所有権の帰属先と、環境価値の帰属先が異なることを明示する説明文書を作成して譲渡先に示します。あわせて、当該森林の譲渡の際には、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款森林管理プロジェクト特約の内容にも十分に留意します。</p> <p>※第三者が、当該プロジェクトから生じる環境に関わる付加価値がオフセットクレジット(J-VER)として使用されていることを知らずに、当該付加価値を二重に主張することを防ぐ必要があるため、妥当性確認時において、これらの防止措置が講じられる体制にあること(上記の「説明文書」の作成等)を確認する必要があります。</p>

【② 自主的な報告・公表を実施する際のダブルカウントの防止措置】

- 以下の自主的な報告・公表媒体において、当該プロジェクトの内容、当該クレジットの発行量及び当該クレジット発行量のうち当事業者が無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）を明記します。

あわせて、当該プロジェクトにおいて発行されたクレジット量については、環境価値の帰属を主張しません。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）については除きます。

- ホームページ

ホームページ URL: http://www.sunchlorella.co.jp/

- 出版物（環境報告書/定期刊行物）

- その他 具体的に:

- 【③ 現在は、自主的な報告・公表を実施していないが、今後実施するにあたっては、当該プロジェクトにおいて発行されたクレジットについては、環境価値の帰属を主張しません。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）については除きます。

【④ 公的な報告・公表制度におけるダブルカウントの防止措置】

- 公的な報告・公表制度には参加していません。

- 以下の公的な報告・公表制度に参加しています

【⑤ 地球温暖化対策推進法に基づく算定・報告・公表制度の対象者である。

【⑥ 地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画（区域施策）の策定義務対象者（都道府県）である。

【⑦ 「排出量取引の国内統合市場の試行的実施」参加事業者である。

【⑧ 地方公共団体が実施する以下の制度の対象事業者である。

制度名: _____

- 【⑨ その他

具体的に: _____

- 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量については排出量とみなし報告します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）は除きます。

- 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量について報告する必要はないため、クレジット発行量については排出量とみなし、当該報告・公表制度の報告様式における適切な備考欄に記載します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）は除きます。

- 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量について報告する必要はないため、クレジット発行量については排出量とみなし、自主的な報告・公表値において報告します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他社に譲渡していないもの）は除きます。

ダブルカウント防止措置責任者 (プロジェクト代表事業者と同様の場合は記載不要)			
事業者名			印
住所			
代表者氏名		代表者役職	
担当者氏名		担当者 所属部署・役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
備考欄			

以 上